

親子聖書日課

NO.1877 2024.9/15-21

名前

[日]私達を最後に待ち受けているのが、死と裁きです。誰もその苦しみから逃れることはできませんが、主は私達の魂を救い出して下さいます。それは主の十字架と復活の出来事を通して、罪を赦し、死を滅ぼし、永遠の命を与えて下さるからです。

[月]詩編の中で最も短い詩です。詩人は、全世界の人々を賛美に招きます。主の救いは、全人類に及び、感謝に満たされ、主を賛美するに至ります。「主の慈しみとまことは私達を超えて力強い」と、個人的な救いの恵みを通して与えられます。

[火]生涯、味方になってくれる人は、なかなかいませんね。しかし、誰でも主を信じるなら、主は生涯、味方になって、絶大な力をもって助けて下さいます。「主は、私の味方、私は誰を恐れよう」と告白できるのは、いつでも主を呼び求めるからです。

[水]聖書の中で一番長い章です。一区切りは8節ずつで、最初の言葉はヘブル語のアルファベット順になっています。壮大な「イロハ歌」です。御言葉に聴き従うことの大切さを歌っています。御言葉に聴従する人は、幸いな人生を歩めます。

[木]「こんな戒めさえなければ、どれほど楽か」と思うことはありませんか。「十一献金」もその一つでしょう。しかし、主は私達を愛するからこそ、辛口の戒めを与えたのです。戒めを誠実に守るなら、祝福されます。「戒めを愛し、楽しみ」ましょう。

[金]「御言葉を待ち望む」ことほど、確かな生き方はありません。御言葉を通して、主は私達の人生に解決と祝福を与えて下さいます。御言葉を待ち望むためには、聖書日課に励み、「速やかに主の戒めを守る」ことです。御言葉に聴従しましょう。

[土]カーナビがあれば、迷うことなく目的地に着けるように、御言葉という「神ナビ」があれば、人生に迷うことはありません。いつの時代も「御言葉は私の道の光、私の歩みを照らす灯」です。御言葉に聴従するなら、どんな暗い道でも安心です。



	聖書	問題	答え
日	詩編 116:1-19	主は私の魂を死からどうして下さいますか。	
月	117:1-2	私達を超えて力強いのは何ですか。	
火	118:1-29	主は私の何ですから、私は誰も恐れませんか。	
水	119:1-24	いかに幸いな人とは、主の律法にどうする人ですか。	
木	119:25-56	私はあなたの何を愛し、それを楽しみとしますか	
金	119:57-88	私はためらうことなく、どのようにあなたの戒めを守りますか。	
土	119:89-120	あなたの御言葉は、私の道の何ですか。	
感想と祈りの課題			